



いたびっ
板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和6年1月16日(火)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)



書初め大会(1・2年生)がありました！



1月12日(金)5・6校時に1・2年生が書き初めをしました。1・2年生は自分が選んだ四文字熟語を熱心に書いていました。日本の伝統的な行事に取り組むことは、みなさんが大人になるうえで大切な体験だと思います。今日の書き初めで書いた言葉を大切に、一年間頑張らしましょう。



30歳の私へ～校長先生の教え子から～



昨年、校長先生の教え子から連絡がありました。30歳の同窓会を開いた折、タイムカプセルに入れた手紙が出てきたそうです。それを、校長先生に送ってくれました。板櫃中のみなさんは、必死になれるものを何かもっていますか。何かに必死になっていますか。今は分からないかもしれませんが、大人になった時に、それが本当に大切なものだったと気付くはずですよ。板櫃中の生徒のみなさんの心に響く内容だと思いますので、今回掲載しました。ぜひ読んでください。(裏面実物)

あなたの夢は、大好きなバドミントンをずーと続けて、小さな子供にバドミントンの楽しさを教えるコトでした。あなたは、その夢を叶えていますか？

中学生の頃はいろいろありました。あなたは、曾根東小学校を卒業し、曾根中学校に入学しました。1年3組だった、あなたの担任の先生であった栗原博巳先生がバドミントン部の顧問だったということもあり、なんとなくバドミントン部に入部しました。まさか、あんなに厳しく、きつい部だったとも知らずに…。それからの毎日は、本当に大変でした。あなたの学年のバドミントン部の中で、一番最初に栗原先生に怒られたのもあなたでした。怒られてばかりで、でも、全くできない自分が悔しくて、あなたは何度も泣きました。泣いて、泣いて、泣きまくりました。

でも、1年を終えた時、あなたは初めて勝てるようになりました。1点取れば喜んでいただけ、それが勝つことができるまでに進歩しました。それが、とっても嬉しく、そして、それと同時に負けることの悔しさを覚えました。

そうして、2年目を終えた時、あなたはとってもバドミントンが大好きになっていました。初めて、〇〇ちゃんと組んで、賞状をもらったときのこと、●●ちゃんと組んで、初めて市で優勝できた時のこと、県で三位になれた時のこと、九州大会出場が決まったときの喜び、きっと今も忘れてないでしょう。けれど、その喜びの分だけ、辛いことも、悲しいことも、苦しいことも、悔しいこともありました。でも、中学校で過ぎた時の全ての思い出は、今のあなたも覚えているほどの、大切な、大切な宝物だったと思います。そして、これからもその思い出はきっとずーと宝物であると思います。

あなたは進路を決めるときずいぶん悩みました。九州国際大学付属高校に行くのか、福岡県立小倉西高校に行くのかでずいぶん悩みました。でも、結局、あなたは小倉西高校を選びました。その時のあなたは、その選択が正しかったのか分かりませんでした。でも、今はもうその答えが出ているはずですよ。その時のあなたは、九州国際大学付属高校に行かなかったことを少し後悔していました。でも、今のあなたはきっと、後悔していないと信じています。きっと、楽しい高校生活を送り、楽しい大学生活を送り、元気に過ごしていると思います。

もし、今のあなたが自分の夢をまだ叶えられていなかったとしたら、今からその夢を叶えてください！！そして、健康に生きてください。

そして、大好きな、大好きな、大———好きな、だいだいだあーい好きなバドミントンを死ぬまで続けてください！！そして、永遠にバドミントンを好きでいてください！

曾根中学校 3年4組 内田 真梨子

30さいのあなたへ...

あなたの夢は、大好きなバドミントンをずっと続けて、小さな子供にバドミントンの楽しさを教えることでした。あなたは、その夢を叶えていますか？

中学生のころはいろいろありました。あなたは、^{曽根東}小学校を卒業し、^{曽根東}中学校に入りました。1年3組だった。あなたの担任の先生であった、栗原博巳先生がバドミントン部の顧問だったということもあり、なんとなく、あなたは、バドミントン部に入部しました。まさか、あんなに楽しい、きつい部活動だったと気づかず...。それから毎日は、本当に大変でした。あなたの学年のバドミントン部の中で、一番最初に栗原先生におこられたのきあなたでした。おこられてはうかごで、まったくできない自分がくたくたいて、あなたも、なんども泣きました。泣いて泣いて泣きまわりました。

でも、1年をおえたとき、あなたは、初めて勝てるようになりまし。1点とれれば喜んでいたので、それが勝つことが出来るまでに進歩しました。それが、とってもうれしく、そして、それと、どうい、負けることのくたさを覚えました。そして、2年目をおえた時、あなたは、とっても、バドミントンが大好きになっていました。初めて、XXXXXXXXXXちゃんといっしょで、賞状をもらった時のこと、XXXXXXXXXXちゃんといっしょで初めて、市で優勝できた時のこと、県で三位になれた時のこと、九州大会出場が決まった時の喜び、きつと今も忘れてないでしょう。けれど、その喜びの分だけ、つらいことも悲しいことも苦しいことも辛いことも、ありました。でも、中学校で通ったときの全ての思い出は今のあなたも覚えて

いるほどの、大切な大切なたからきのことだと思います。そして、これから、その思い出はきっとずっとたからきのことだと思います。あなたは、進路を決めるとき、ずいぶん悩みました。九州国際祭大学付属高校に行くのか、福岡県立小倉西高校に行くのかをずいぶん悩みました。でも、結局あなたは、小倉西高校を選びました。その時のあなたは、その選択が正しいのか、おわかりませんでした。でも、今はもうその答えがわかっているはず。その時のあなたは、^た国に行けなかったことを少し後悔していました。でも、今のあなたは、きつと、こうかいていないと信じています。きつと、楽しい高校生活を送り、楽しい大学生生活をおくり、元気に過ごしていると思います。

もし、今のあなたが自分の夢をまだ叶えられないとしたら、今から、その夢を叶えてください!! そして、けんこうに生きてください!!
そして、好きなだけ、好きなだけ、好きなだけバドミントンを、死ぬまで続けてください!! そして、永遠にバドミントンを好きでいてください!!

先生に送られてきた手紙の実物です。本人の名誉のために(笑)、当時は友達同士で書く手紙の字をこのように書くのが流行っていました。お家の人なら分かるかもしれません...。彼女は今神戸で3人の子育てに奮闘しています。